

2018年7月6日

報道関係者各位

株式会社電算システム
(東証第一部/名証第一部:3630)

ローソンでスマートフォンを活用した新しいコンビニ決済サービスの取扱いを開始
～電子バーコードによる決済アプリ(PAYSLE)の取扱いコンビニを拡大中～

株式会社電算システム(本社:岐阜県岐阜市、代表取締役社長執行役員 COO:田中 靖哲、以下「電算システム」)は、株式会社ブリースコーポレーション(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:佐藤 洋史 以下、「brees」)と連携し、breesが提供するスマートフォンに電子バーコードを表示させコンビニレジで簡単に決済ができる「PAYSLE(ペイスル)」(注)を、2018年7月10日より、株式会社ローソン(本社:東京都品川区、代表取締役社長:竹増 貞信)の全国のローソン店舗で取扱いをできるようにいたします。

今回のローソンでの取扱い開始により、PAYSLEサービスが取り扱えるコンビニは、ローソン、ミニストップ株式会社、株式会社セコマの3社となります。これにより、支払者にはPAYSLEサービスの利用できる機会が増え、電子バーコードによるコンビニ決済が支払者にとって身近な決済サービスとして認知度が上がっていくものと期待しています。

<PAYSLEサービスの展開について>

電算システムは今後も、PAYSLEサービスの普及を目指し取扱いできるコンビニを順次拡大していく予定です。また請求事業者には標準のPAYSLEアプリに加え、請求事業者の専用の自社スマートフォンアプリに電子バーコードが表示できるインターフェースを提供し、広く柔軟なPAYSLEサービスの提供に努めてまいります。

多くの情報が紙からペーパーレスに移行する時代においても、窓口で支払うことのできるコンビニ決済サービスの利便性は広く浸透しており、請求事業者にも支払者にも幅広く支持されています。電算システムはスマートフォンの普及を背景に、このコンビニ決済サービスの利点と、スマートフォンアプリ決済の2つの利点を併せ持つPAYSLEサービスを、世の中の流れに合った、より便利で手軽に支払うことのできる決済サービスとして展開してまいります。

(注)「PAYSLE」は、株式会社ブリースコーポレーションが提供するスマートフォンアプリを通じてコンビニ支払いが出来るサービスです。

※株式会社ブリースコーポレーションの概要

名称 : 株式会社ブリースコーポレーション (brees)
所在地 : 東京都渋谷区
代表者 : 佐藤 洋史
サービスサイト : <https://www.paysle.jp/>

■電算システムについて

電算システムは1967年(昭和42年)に岐阜県で創業し、独立系総合型情報処理サービス企業として、情報サービス事業と収納代行サービス事業を展開しております。

情報サービス事業はさらに、①ソフト開発とシステム環境の構築までを行うシステムインテグレーション②データ処理や各種帳票の発行の運用等を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業とデータセンター事業を行う情報処理サービス③アプリケーションソフトやシステム機器・サプライ用品の販売を行う商品販売の3つのサービスで構成されております。

収納代行サービス事業は、1997年(平成9年)に民間企業初のコンビニ収納代行サービスを開始してより、総合決済サービスプロバイダとして決済サービスと国内外の送金サービスを提供しております。

現在はデータセンターを中心としたクラウドサービス事業を3つめの主要事業にすべく、積極的に取り組んでおります。

詳細については電算システムのホームページ (<http://www.densan-s.co.jp/>) をご覧ください。

本リリースに関する問い合わせ先

<報道関係者様からのお問合せ先>

株式会社電算システム

総務部 後藤

電話:058-279-3456

E-mail: kikaku@po.densan-s.co.jp

<製品・サービスに関するお問合せ先>

株式会社電算システム

決済サービス事業部

電話:058-279-3482

E-mail: ec-tokyo@densan-s.co.jp

【参考資料】

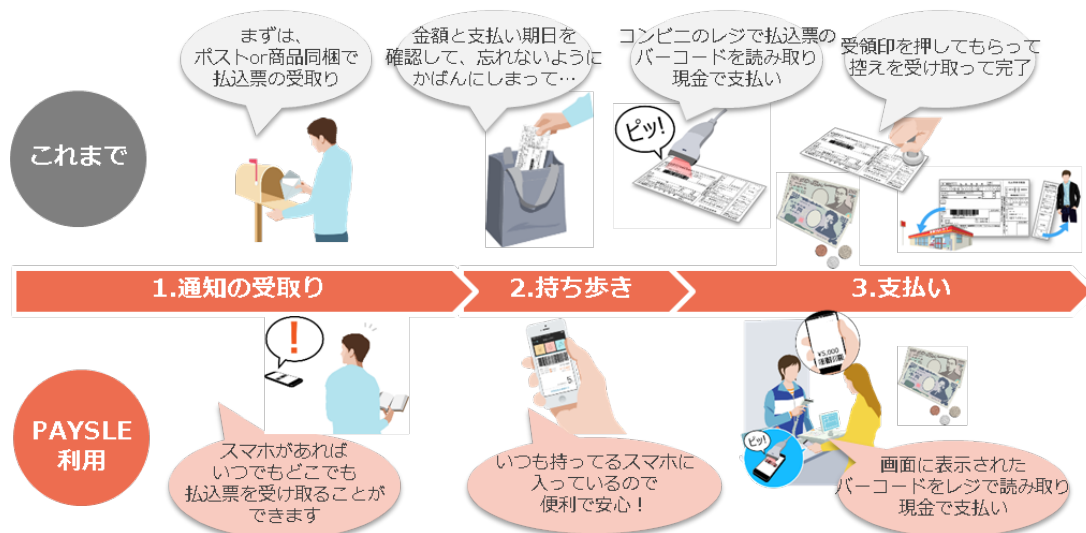
PAYSLE サービスの概要

スマートフォンアプリ「PAYSLE」を利用した新しいコンビニ決済サービスは、コンビニで公共料金や通信販売の代金等の現金支払いの際に用いる紙の払込票に記載されたバーコードを、新技術（注1）を活用してスマートフォンの画面上に表示し、コンビニの店頭で決済を実現するものです。

従来、コンビニの店頭レジで支払う際、請求事業者から郵送される払込票やコンビニ店内のキオスク端末（注2）で発行した払込票の提示が必要でした。新サービスでは、利用者が予めスマートフォンにインストールしている「PAYSLE」により表示される電子バーコードを提示し、これをコンビニ店頭レジのスキナで読み取ることで、現金支払いが可能となります。

これにより、利用者の利便性向上や、請求事業者の払込票発行・郵送コストの削減、コンビニの店頭・管理業務の効率化など、これまでのコンビニ決済サービスの利便性・効率性をさらに高めた新しい決済サービスとなっております。

<PAYSLE の利用イメージ>

PAYSLE サービスのメリット

<利用者のメリット>

- ・ スマートフォンでいつでもすぐにお支払いができます。
- ・ 支払期限が近づくとスマートフォンにプッシュ通知でお知らせするので、払い忘れを防げます。
- ・ コンビニレジで提示するだけで簡単にお支払いができます。

<請求事業者のメリット>

- ・ 決済手段の拡充によるお客様の利便性向上につながります。
- ・ 払込票の印刷や発送コストの軽減ができます。
- ・ 紙を使わないことによる環境への配慮とエコ企業としての貢献ができます。

- ・ システムに請求情報を登録するだけですぐに PAYSLE アプリ上にバーコードの表示が可能です。これにより請求～入金サイクルの短縮化も図れます。
- ・ 自社アプリで電子バーコードを発行させることで、自社アプリの普及につながります。

<コンビニエンスストアのメリット>

- ・ 店舗業務の軽減、効率化が図れます。
- ・ レジ時間の短縮による顧客回転数の向上が図れます。

(注1) スマートフォンの画面上に表示するバーコード。従来の技術では、一次元バーコードをスマートフォンの画面上に表示すると POS スキャナで読み取れないという課題がありました。

(注2) コンビニ等の店舗内に設置されている、情報通信端末。略称 MMK 端末。